

10年後のアラブの夢 中町信孝 2008年03月12日

1998年の「アラブの夢」から10年。再びアラブ世界のポップスターたちが集結し、アラブの団結を訴える歌を発表した。その名も「アラブの良心」！ まずはこのYouTube画像を見てもらいたい。といってもこのビデオ、40分以上もあるので、全部見通すのも一苦労だ。5分割されているので、立て続けに見るべし。「100人のアラブスター」というふれこみだが、ソロパートがあるのは33人。（神の美名の約数だが、何か意味があるのだろうか？）

さあこの33人のスターたち、最後のちびっこ歌手のソロをのぞけば、それぞれ2人ずつ組になってデュエットを繰り広げている。以下に、ポップス・フリーク的観点からこの16組の壮絶バトルを見てみたい。とは言ったものの、初っ端にナシードを歌っている①ワディーウ・アッサフィーと②ムハンマド・アルアザビーという2人のベテランのことはよく分からないので飛ばす。

6:22 ビデオで言うと6分22秒あたりから伴奏が始まり本編となるが、そこからトップバッター、③ラティーファ Latifa（チュニジア）が登場する。一昨年のレバノン戦争の時にはイスラエル批判のキャンペーンの先頭に立った彼女はこのポジションがふさわしかろう。新作で見せたフェイルーズばりの癒しボイスは影を潜め、本来の伸びやかな高音が帰ってきた。対するはエジプトのベテラン④ハニー・シャーキル Hani Shakir。日本で言う五木ひろしつぽい安定感で、出だしと締めの両方をラティーファに譲りつつも、守りに徹する感じの危なげない歌唱だ。

9:19 Part2に移ると、早速⑤ナンシー・アジュラム Nancy Ajram（レバノン）が登場。例によって甘あまのアイドルボイスだ。この舌足らずなところがいい！と思える人は立派なアラブポップスフリークだ。そして迎え撃つはライの帝王⑥シェブ・ハレド Cheb Khaled（アルジェリア）。この人の声はもはや伝統楽器だ。一声だけで空気が変わるし、フェイクの仕方が誰よりもかっこいい。おそらく今回のメンツで国際的知名度が最も高いのはこの人だろう。それが当代きってのアイドル、ナンシーとのデュエット！至福の1分45秒間だ。

11:03 興奮醒めやらぬまま⑦シーリーン Sherine（エジプト）登場。ナンシーの直後にシーリーンとは、トロのお口直しに牛タンを食べるようなものだが、いつも通りのハスキーボイスに魅了される。タンクトップといういでたちの飾らないところも良い。対する⑧サービル・ルバーイー Sabir Rubai（チュニジア）は端正な歌唱。髪の毛はなくともイケメンはイケメンというところを見せつけてくれる。

13:00 次に⑨リダー・アルアブドゥッラー Rida al-Abdallah（イラク）の信じがたい高音だ。以前彼の曲を聴いたときには「カーゼムそっくり」と思ったものだが、全然別物になっている。サビの部分が若干他の人と発音が違うような気がするのだが、イラク訛だろうか。

対するは管理人一押しのエジプトの新人⑩アーマール・マーヘル Amal Maher。おそらく今回の最年少だろう（最後のちびっ子除く）。10 年前のディヤナ・ハッダードに相当するポジションだと思うがどうだろう。声量もあり、凜とした歌唱は正統派の貫禄が漂う。

14:45 ⑪ハーレド・サリーム Khaled Salim (エジプト) は、いつもながらのメロウな歌声。ただ本音を言えば、この人の代わりにターミル・ホスニーに入ってほしかった。⑫アハラーム Ahlam (バハレーン) も貫禄たっぷりにねっとりとしたコブシを聴かせる。

16:27 いきなり洋楽的なコブシで割り込んでくるのが⑬ディヤナ・カルズーン Diana Karzoun。この人、ヨルダン人だったのか。⑭アブドゥッラー・アルルワイシド`Abdallah al-Rwaished (クウェート) の伝統的ないでたちとは好対照。しかしルワイシド、サビの部分の声、高！

18:27 ここから Part3。褐色の⑮ワード Waad (サウジ) も意外と西洋的な発声をしている気がする。対する鼻声の⑯イハーブ・タウフィーク Ihab Tawfiq (エジプト) が妙に押さえたトーンなのが違和感。フェイクもしまくっている。

20:11 うわ、⑰ムスタファ・マフフーズ Mustafa Mahfuz って誰だ？ すごい音域だけど。知らない。⑱アマル・ヒジャージー Amal Hijazi (レバノン) は嘘っぽい金髪が玉に瑕だが歌はうまい。それにしても⑲番は誰だ？

22:07 ⑲ワール・ジャッサール Wael Jassar (レバノン) は最近人気の男性歌手だがイーワーンと見分けがつかないな。⑳アマニーヤ？ Amaniya に至ってはさっぱりわからん。

23:49 (21) アーミル・ハサン`Amer Hasan も知らない人。おそらくは大物シリア人歌手 (22) アサーラ Asala 姐さんの引き立て役だろう。とはいえるが、僕は実を言うとアサーラの野太い声が好きなので、このあたりでアサーラ節が聴けるのはとても旨いと思う。中だるみしなくて。

25:34 (23) シエブ・ジーラーニー Cheb Jilani も最近よく聞く名前だが、アルジェリア人なのだろうか。マシュリクを拠点にやっている人だが。ナンシーはナンシーでも (24) ナンシー・ザアブラーイー Nancy Zaablawy (レバノン) だ。

27:33 出た！ イラクのイケメン(25)マージド・アルムハンデス Majid al-Muhandes だ！ 目が怖い！ この人もサビがなまっている気がする。いや、むしろ、他の人がエジプト方言のを、イラク人だけが訛らずに歌っているのか。(26) アミナ Amina って誰？

29:17 (27) ルトフィー・ブシュナーク Lutfi Bushnaq (チュニジア) って、あのウード弾

きの人か。日本にもきたことがある。へー、あの人こういうのも歌ったりするんだなあ。で、(28) ヤーラ Yara (レバノン) だ。この2年くらいで一躍人気者になった彼女もいい仕事をしている。実は彼女のパートは歌詞が良くて、「スンナもシーアも同じレバノン人」みたいなことを歌っている。

31:15 (29) アムル・アブドゥッラート `Amr `abd al-Lat は知らない人。(30) ナワール Nawal (クウェイト) は大物なので、その引き立て役か。ナワールもなんだかサビの部分の訛が違うな。これでサビの部分、エジプト方言で歌ってないのは二人のイラク人とクウェイト人一人、ということになる。

33:00 (31) ヌール・ムハンナ Nour Muhanna という名前を聞くと、シリアのベドウィンの出身なのかと思ってしまうが、どうなんだろう? 前にナンシーと一緒にエジプトの歌謡賞を受賞したというニュースを見たことがある、伝統的な歌い手のようだ。(32) ファーティン・ヒラールベク Faten Hilal Bak ってこれまた変な名字だが、知らない人。ムハンナが最後に「アッラーフ・アクバル!」と締めくくっているのだが、なんでこんな所でアザーンを唱えているのかとやや不思議な思い。

... 以上、16組バトルのレビューを試みたが、知らない歌手はまだまだ多い。名前は知っても、湾岸の歌手は解説できるほどは知らないなあ。書いてるうちにだんだん失速していくのを痛感した。

しかし、失速しているのはそもそもラインナップが竜頭蛇尾というか、初めのうちにナンシーもシーリーンも使い切ってしまっているので、後ろにはあんまりスターが残っていない、みたいな状態になっているせいだと思う。まあ40分もある曲だから、初めのうちだけ一生懸命聴いて、あとはやめちゃうと言うことも想定しているんだろうか。

でもってこの歌の最後の部分は、ソロをとるには至らないその他の歌手たちが続々と出てくる。全部数えちゃいないが、こういう人たちを全部足して、「100人のスターたち」ということになるんだろう。国別で5~6人組になっているのが面白いのだが、意外と「シリアのスターたち」とカテゴライズされている歌手が多いのに驚く。ソロをとれないのはアラブ全体での知名度が低いからだと思うが、確かにシリア出身の歌手でアサーラ以外にピンと来るのはいない。しかし実力のある歌手は決して少なくはないのだろうと思われる。

そして最後に演説をぶっておいしいところを持っていく、プロデューサーのアフマド・イルヤーン。前奏部分にも出てきてなにやら演説をしてるのだが、いったい何者なんだこいつわ!? という疑問ばかりが残ってしまう読後感だ。

というわけで次は歌詞の説明いきます。本当か?

アラブはみな兄弟 中町信孝 2008年03月13日

前エントリの続き。「アラブの良心」だ。歌詞を全部訳すのはさすがに大変なので、つまみ食い的に紹介するにとどめる。とりあえずアラビア語の分かる方は、こっちを見て確認されたい。アラビア語はよく分からないけど発音をまねしてみたいという方は、ローマ字転写を見てもらえればOK。ちなみにこのサイトからMP3ファイルなどもダウンロードできる。

まず、サビの部分はみな同じで、こんなことを歌っている。

maatet 2olub en-nas maatet bena en-na5wa

yemkin nesina fi youm en el 3arb e5wa

ماتقول بالناس ماتتبينا النخوة

يمكنسينا فبيو مان العر بآخرة

人々の心は死んでしまった 私たちの誇りは死んでしまった

きっといつの間にか私たちは忘れてしまったのだ アラブは兄弟だと言うことを

30人の歌手が繰り返し、このフレーズを歌っていることになる。けっこう自省的というか自虐的な文句だと思う。

それがラスト、ちびっ子歌手モーメン Mo'men のソロから、こんなフレーズになる。

sa7y 2olub en-nas sa7y beha en-na5wa

esro5 bi kol e7sas en el 3arb e5wa

صحيقول بالناس صحبها النخوة

اصر خيكلا حسائبان العر بآخرة

目覚めよ人々の心 目覚めよそこにある誇り

すべての感覚で叫ぼう アラブは兄弟だと

なるほど、ここまでセットにして初めて完結するメッセージなわけだ。基本的には「アラブはみな兄弟」ということがメインテーマということだろう。とりあえずこのサビとラストのフレーズを暗記して、空で歌えるようになるのが眞のアラブポップスファンということになるだろう。ヤッラ！

（ところでいつも悩むんですが、e7sas احساسってどう訳せばはまるんでしょう？感覚？感じ方？全身全霊？）

でもって、この大きなテーマをマスターした後で、それぞれの歌手が何を歌っているのかを見てみると、実に面白いのだ。続く。